

令和5年6月9日
名城大学理工学部 社会基盤
デザイン工学科
中部 i-Construction 研究会

名城大学の学生が最新のインフラ DX を学びます！ ～ 7年目を迎える『学生のためのICT講座』今年も開催します ～

国土交通省では、少子高齢化に伴う労働者不足など、現在「建設産業」が直面している様々な課題に対応するため、平成28年度より i-Construction を推進し、そのトップランナー施策の1つである、ICT 施工の普及・拡大を進めており、建設現場の生産性向上に努めているところです。

その一環として中部地方整備局では、平成29年度から管内の高校・高専・大学の学生を対象とした「学生のためのICT講座」を開催し、建設産業の担い手確保の取り組みを実施しております。

将来の建設業界を担う若者に、建設業界への興味・関心をより一層持っていただくことを目的に、このたび名城大学の学生を対象に、地上型レーザースキャナーの実演などの講座を開催します。

※ i-Construction：国土交通省が実施している「建設現場の生産性革命」の取り組み

※ ICT：情報通信技術 (Information and Communication Technology)

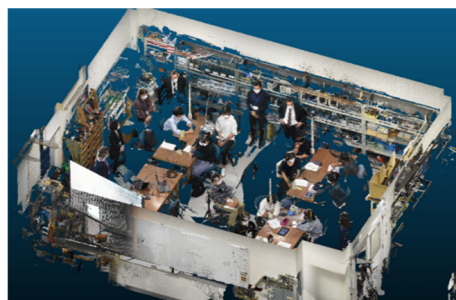
※ 地上型レーザースキャナー：レーザーを連続的に照射（千～数百万回/秒）し、3次元データを取得する装置

1. 開催概要

- 1)日時：令和5年6月20日（火） 13:30～16:20
- 2)場所：中部インフラDXセンター(中部技術事務所構内)
- 3)参加者：名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科（4年） 学生23名
院生・教員等4名 合計27名
- 4)講座内容：「学生のためのICT講座 プログラム(案)」参照【別紙-1】
- 5)主催者：中部 i-Construction 研究会（中部地方整備局 企画部 施工企画課）



地上レーザースキャナー実演



教室内をスキャナーで読み取った3Dモデル

※写真：三重大学でのICT講座の状況(令和4年度)

2. 添付資料

- 【別紙－1】 学生のためのICT講座 プログラム(案)
- 【別紙－2】 取材登録票
- 【別紙－3】 中部インフラDXセンター施設紹介
- 【別紙－4】 学生のためのICT講座チラシ

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ

4. 取材申込 当日取材を希望される報道関係者様は、令和5年6月16日(金)12:00までに、必要事項を記載した「【別紙－2】取材登録票」をメールにて送付して下さい。

5. 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 企画部

中部 i-Construction 研究会 事務局（中部地方整備局企画部施工企画課）

建設情報・施工高度化技術調整官

建設専門官

近藤 弘司

長谷川 公政

TEL 052-953-8180

E-mail cbr-ict@mlit.go.jp

学生のためのICT講座 プログラム（案）

日 時：令和5年 6月20日（火） 13：30～16：20
場 所：中部インフラDXセンター（中部技術事務所構内）

■ 1回目

- 13：30～13：35 【挨拶】
- 13：35～13：50 【座学】
 - 講座名 中部地方整備局におけるインフラDXの取り組み
 - 講師 中部地方整備局 企画部 中部インフラDX推進室 室長 近藤 弘 司
- 13：50～14：45 【座学・実演】
 - 講座名 ICTを活用した測量技術について
 - 講師 (株)サイテックジャパン ICT推進企画室長 鈴木 勇 治 氏
 - ※ (一社)日本建設機械施工協会会員
 - 講義室内で地上型レーザースキャナーを用いた測量のデモンストレーションを予定
- 14：45～14：50 【質疑等】
- 15：00～16：20 【DXセンターにて体験】
 - 遠隔臨場（ウェアラブルカメラ）、AR、VR等を体験していただきます。

備考（報道関係者様へ）

- プログラムの時間は目安であり、前後する場合がありますので、ご了承ください。

「学生のためのICT講座」取材登録票

- 取材を希望される報道機関におかれましては、事前のご登録をお願いします。
登録は本登録票に記入いただき、期限までに下記へメールにて送付下さい。
- 取材希望の状況等により、人数を調整させていただく場合があります。

送付先 中部地方整備局 企画部 施工企画課

E-mail : cbr-ict@mlit.go.jp

送付期限 6月16日(金) 12時

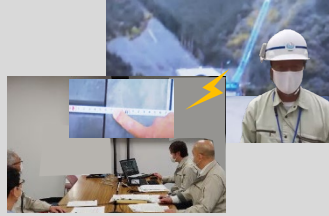
(下記にご記入の上、メールにて送付をお願いします)

報道機関名
ご氏名 フリガナ
予定人数 人
連絡先(電話番号) — —

「中部インフラDXセンター」では、現場と連携してバーチャル体験が可能な環境とデジタル機器を整備し、これらをインフラ分野で活用できる優秀な人材の育成に取り組んでいます。

1階 体験エリア

遠隔臨場体験



現地と離れた会議室を通信で結び、ウェアラブルカメラを用いた、会議や検査を想定した体験ができます。

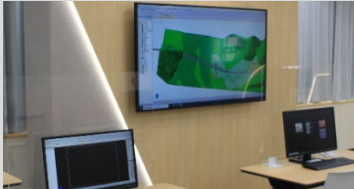
遠隔操作技術の紹介



危険な場所などにおいて離れた安全な場所から、遠隔で建設機械を操作する技術を紹介しています。

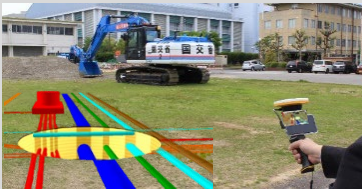


3次元設計技術の紹介



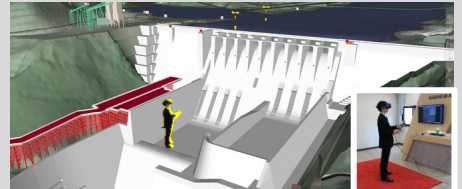
3次元の設計ソフトが使えるPCがあり、3次元設計データを触る体験や活用事例の紹介をしています。

AR(拡張現実)体験



現地で簡単に図面などのデータ確認ができる体験として、埋設物が風景と重ね合わせて表示される端末の体験ができます。

VR(仮想現実)体験



3次元設計データで作られた空間へ入る体験ができます。不具合の有無や完成イメージの確認、安全対策の検討などの体験ができます。

2階 研修エリア

インフラDX研修



3次元の設計ソフトが使えるPCや大型モニター、スクリーンのある研修スペースです。(研修用PC40台程度設置)

【所在地】

〒461-0047 名古屋市東区大幸南1丁目1番15号（中部技術事務所構内）
 ※地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」で下車、1番出口より徒歩1分

【問い合わせ】

国土交通省 中部地方整備局

中部技術事務所 技術活用・人材育成課

電話番号：052-723-5704

URL：<https://www.cbr.mlit.go.jp/chugi/dx/yakuwari/index.html>



学生のためのICT講座 カリキュラム例

別紙ー4

【座 学】

- ・ 建設業界を取り巻く話題と最新の建設ICTについて
- ・ ドローン・レーザスキャナを用いた最新の測量技術について
- ・ ICT建設施工と衛星測位
- ・ 現場で活躍するICT建設機械

随時
募集

【実機デモ】

- ・ 地上レーザスキャナ（TLS）

【技術体験】

- ・ VR（ダムや橋梁等の仮想現実空間）



【問い合わせ窓口】

中部i-Construction研究会 事務局

国土交通省 中部地方整備局 企画部 施工企画課

〒460-8514 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

[TEL] 052-953-8180

[E-mail] cbr-ict@mlit.go.jp